

モニターレポート(8月報告)

【報告内容①】

阿賀野川漁協のイベントに行ってきました。天気もよく、子供を含めて50人ほどの参加で元気のあるイベントでした。

新潟は川に恵まれているのに有効に利用されていなく損だ、と他県の人から言われているのを聞いたことがあります。阿賀野川も数カ所川に親しむ場所があるのに、荒れ放題で利用されないのはもったいないと感じます。きれいに整備し、川への親しみをよびかけ続ければ、ゴミの投棄も無くなると感じました。

〈事務所からのコメント〉

参加されたイベントは、阿賀野川漁業協同組合連合会が「もっと子供達に川と親しんでもらいたい」という趣旨で企画されました。とても盛況だった、という報告を主催者からも伺っています。

河川内の除草については、多くの皆様が川に親しんでもらえるようにできる限り実施していますが、予算の制約もあり、堤防などの重要施設や既存の親水施設周りなどで手一杯なのが実情です。そうした状況でも、不法投棄が多い箇所については見通しを良くするために除草したり、不法投棄が減るよう努力しているところです。

現在の阿賀野川では、多種多様な動植物が生息しており、それらの自然環境も含めて豊かな河川の恩恵を受けていると考えています。

【報告内容②】

今夏は雨の量も少なく、阿賀野川の水も少ない状況でした。お盆休みの連休中には、水量が少ないので川に入って釣りをしている人が多く目立ちました。

8月25・26日と台風が来て、阿賀野川自体に影響はなかったですが、風の影響で電線が切れたり、建物の破損などの被害が出ていました。

〈事務所からのコメント〉

今夏は降雨が少ない状況でした。近年の異常とも言える気象状況は、今回も関東・東北に集中豪雨をもたらし、阿賀野川においても、福島県に降った大雨の影響で水位が上昇し、阿賀町においては避難勧告が発令されました。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

阿賀野川の早出川合流点付近でブラックバス釣りをしている方がいました。詳しく聞くと、スモールマウスバスが釣れるとのこと。日本ではほとんどラージマウスバスしか釣れなく、新潟も同じと思っていたので驚きました。スモールマウスバスは気性が荒いので、生態系が破壊されないか心配です。

〈事務所からのコメント〉

ブラックバスなど外来種の生息は阿賀野川本川でも確認されています。

心ない釣り人などの手により水系に持ち込まれたものが増加し、生息域が拡大していったものと思われませんが、釣ったバスを生きのまま持ち出すこと、運搬、飼育、譲渡、放流することは「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」により禁止されています。

河川の利用には、ルールを守ることが大切であると考えています。

【報告内容④】

大阿賀橋左岸にある阿賀野川フラワーラインで、毎朝ゴミ拾いをしながら散歩をしている70歳前後の男性を見かけました。もう4～5年続けておられるそうで、その区間の河川敷には、殆どゴミが落ちていないのは、この人のお陰と分かり、感謝です。

田んぼの稲が色づき、稲刈りが終わるとあぜ道でのいなご採りが見られると思います。大阿賀橋の中州に鴨の数も増え、白鳥が飛来するのも近くなってきました。阿賀野川への飛来数が県内一になったと聞いています。

〈事務所からのコメント〉

9月に入ってから、朝晩は涼しく過ごしやすくなりました。稲刈りの様子も見かけるようになり、稲刈りが終わると阿賀野川にも多くの冬鳥が訪れ、私達の目を楽しませてくれる季節に変わっていきます。

散歩をしながらゴミ拾いをされている方に出会われたとのこと。人知れず河川を大切に下さる方々に改めて感謝します。当事務所管内の下流域においては、「阿賀野川をきれいにする会」という河川愛護の団体があり、清掃奉仕活動をしていただいています。こうした地域の方々からのご協力を賜っていることを認識し、今後も手を携えながら美化に努めていきます。

※複数のモニター報告を要約してあります。